

**YAMAHA
ELECTONE**

**C-10
B-50**

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはヤマハエレクトーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。お手許のエレクトーンは、楽器づくり80年の経験をもとに、ヤマハが精魂こめて作り上げたものです。

その音色は幅広く、美しく、さまざまな楽器の利点を合わせ持ち、オリジナリティ溢れた音楽を、ご家族、ご友人、みなさまと一緒に充分お楽しみいただけると思います。本書では、エレクトーンの持つ多彩な機能をフルに活用していただけるよう、正しい取り扱い方法を御説明いたしておりますので、是非ご一読くださいますようお願いいたします。

なお、本書はB-50、C-10の2機種についてまとめており、C-10を基本に置きましたので、あらかじめご了承ください。



目 次

各部の名称	1 ~ 2
トーンレバー・エフェクトレバーの名称	3 ~ 4
効果音の種類	5 ~ 6
C-10の仕様と音域表	7
B-50の仕様と音域表	8
オートリズム	9 ~ 12
プリセツツ・C-10のみ	13
演奏方法	15 ~ 16
練習曲	17 ~ 18
カセットについて	19 ~ 22
シンセサイザーについて	23
音の出るしくみ	24
防音について	25
ヘッドホーンについて	26
保存方法	27
椅子の組み立て方	28
お得なサービスの依頼について	29
保証とサービスについて	30
調律方法	31
ヒューズ交換	32
エレクトーンスクールの案内	33
ヤマハステレオの案内	34
故障でない現象	35 ~ 36

C-10

C-10にカセットEC-500(別売)を組み込んだ写真です。



①ペダル鍵盤のトーンレバー
ペダル鍵盤には、バスの音色があります。

⑪プリセツツ(C-10)

②下鍵盤のトーンレバー
下鍵盤には、ホルン、チェロ、ウッドの音色があります。

⑫スペイシャスサウンド
音が空間を飛び交うような効果を出します。

③オートリズム

⑯ペダル鍵盤
左足でベースパートを演奏します。
●13鍵C1～c
●1オクターブ

④上鍵盤のトーンレバー
上鍵盤には、フルート、プラス、オーボエ、ストリングの音色があります。

⑭下鍵盤
主に、左手で伴奏パートを演奏します。
●44鍵F～c3
●3²/3オクターブ

⑤上鍵盤
主に、右手でメロディー・パートを演奏します。
●44鍵f～c4
●3²/3オクターブ

⑮エクスプレッションペダル
音の強弱、音の表情は、右足のこのペダルによってつけます。

B-50にカセットEC-500(別売)を組み込んだ写真です。

B-50

**⑥トータル
ボリューム**
全体の音量を調節
します。

⑦電源スイッチ

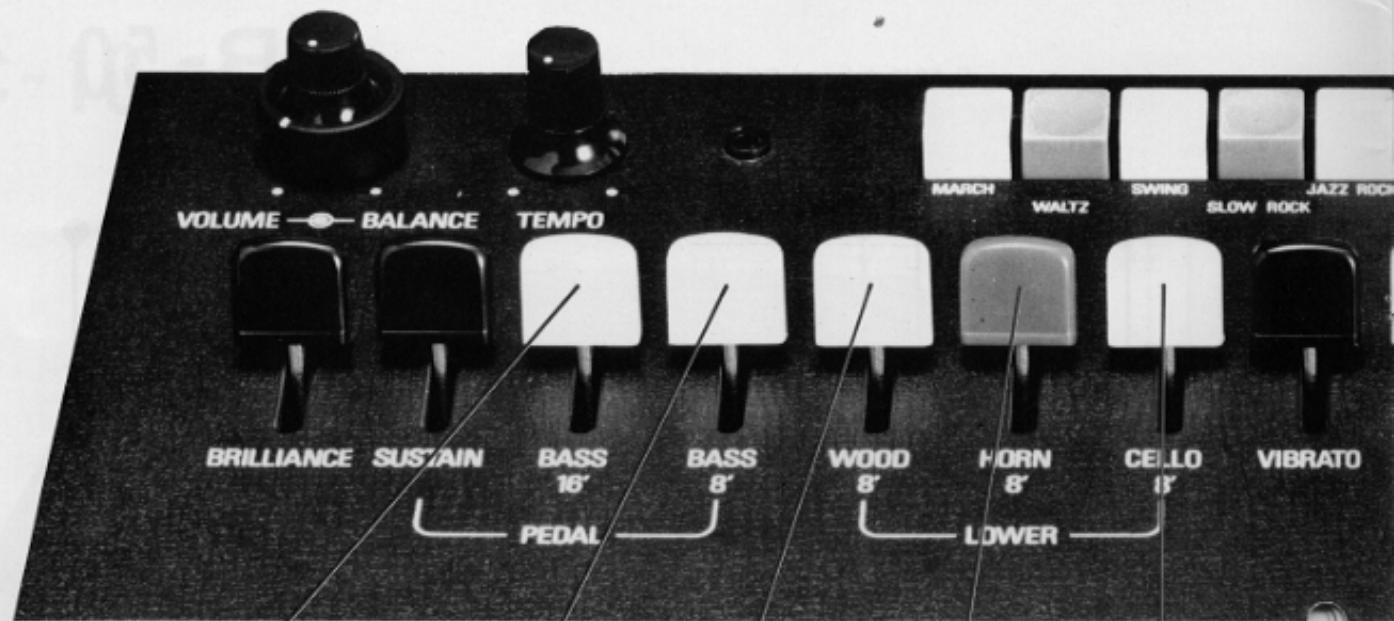
⑧リバーブ
一種の残響効果で、
豊かな余韻をつくり出します。

⑨サステイン(C-10)
音がごくなだらかに静かに減衰する効果をつくり出します。

⑩マニュアルバランス

⑪ニーレバー(C-10)
右ヒザで押すとサステインがかかるります。

**⑫カセット
テープデッキ
EC-500
(別売)**



バス16' (C-10のみ)
エレクトーンの最低音部を受け持ちます。

バス8'
バスのオクターブ上の音です。
これを16'に加えると、ペダル鍵盤の音は音程が聴きやすくなり、ペダル鍵盤でメロディを演奏することも可能です。

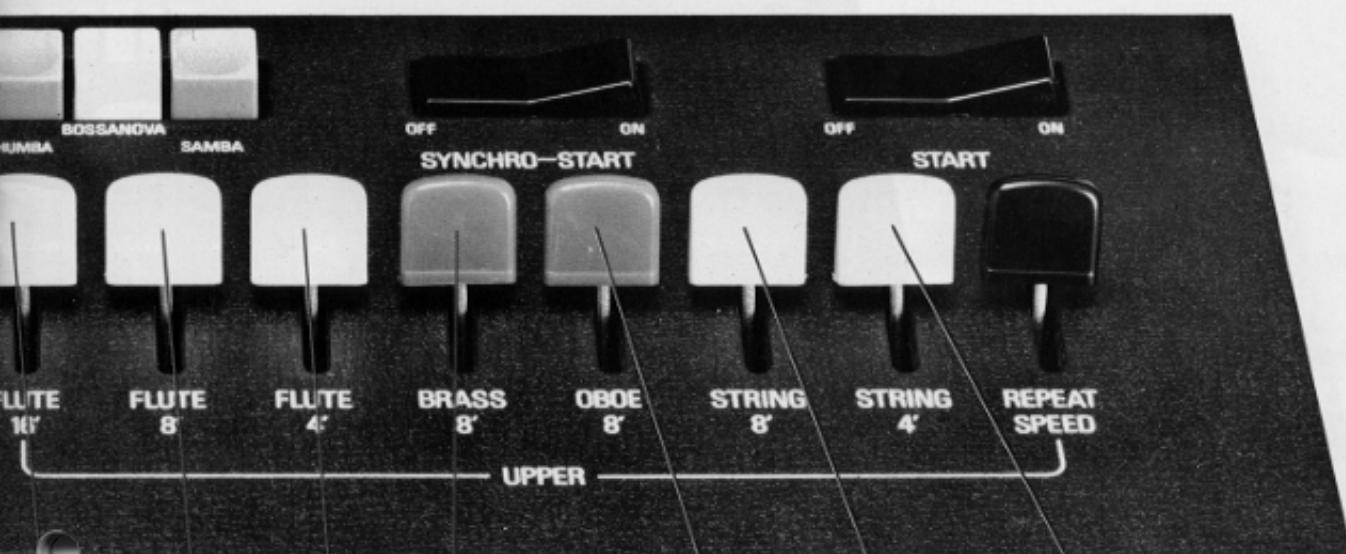
ウッド8'
木管系の音で、フルートと同じような単純な音ですが、いくらかあかるい感じになります。

ホルン8'
クセのない豊かなホルンの音色が得られます。

チエロ8'
やわらかく自然なチエロのような音色です。

ペダル鍵盤のトーンレバー

下鍵盤のトーンレバー



プラス8'
金管楽器独特の複雑な波形をもった鋭い感じの音です。比較的あかるい感じがします。

フルート4'
フルートのオクターブ上の音が出ます。これを加えると音は華やかさを増します。この音を単独で用いれば音域を1オクターブ広げる使い方ができます。

フルート8'
フルートの音色です。澄んだ落着いた音がします。

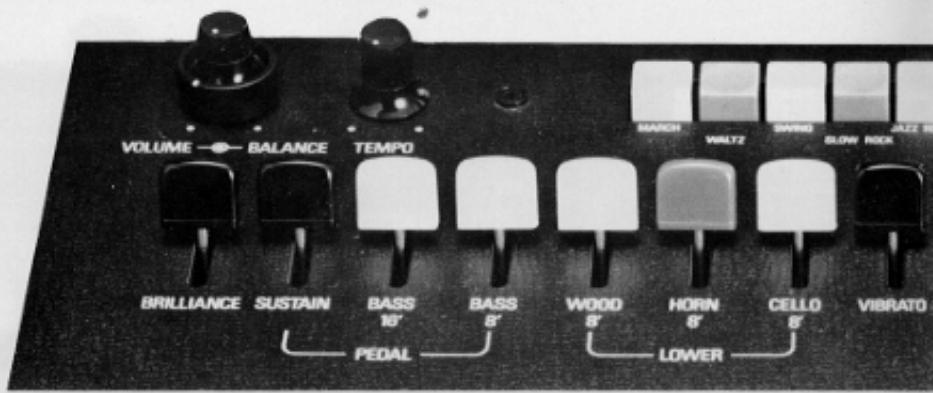
フルート16'
やわらかで澄んだ音が出ます。他の音色とのハーモニーがきれいです。このフルート16'のレバーを手前に引くと、1オクターブ下のフルートの音がします。

ストリング4' (C-10のみ)
ストリングのオクターブ上の音が出ます。これを加えると一層華やかなサウンドが生まれ、また単独で用いれば、音域を1オクターブ広げることもできます。

ストリング8'
弦楽器の音は更に複雑で豊かな音色になります。このトーンレバーの音も、そうした弦楽器の特徴をよくあらわしています。

オーボエ8'
オーボエのようなダブルリードの楽器の音で、やはり複雑な波形を持っています。これにより、演奏の味つけの効果が一段と増し、ストリング群などに加えると大変クリアな効果があらわれます。

上鍵盤のトーンレバー



[エフェクトレバー]

プリリアンス

これは音色全体をきらびやかな感じにしたりやわらかな感じにする時に使います。

ビブラート

これは音の震える効果です。

このレバーを入れると音が生き生きとするおいを持ってきます。レバーの深さの程度によっていろいろな感じを作り出します。

リピートスピード

リピートを入れると上鍵盤の音が歯切れのよい断続音になりちょうどマンドリンを弾いた時のような、こきざみな音の感じが得られます。

レバーの位置により、かかり具合いか調節できます。(C-10のみ)

ペダルサステイン

ペダルサステインをかけることにより、コントラバスのピチカート奏法の感じを出すことができます。

[カプラー]

カプラーとは、一つの音と別の音を組み合わせて使うことです。

これによって、一つのキーを押しただけで、いくつものキーを押した場合と同じ結果となります。

たとえばフルート8'をいっぱいにおろし、次にフルート16'を入れてみます。そして演奏した場合一つのキーを押しただけで、フルート8'の音と、その1オクターブ下のフルート16'の音の二重音が出ているというわけです。しかもレバーをどの程度下げるかによって自由に音の強さを加減できますから、いくつもの音色がつくりだせます。

[エフェクト コントロールレバー]

マニュアルバランス

下鍵盤の左側にあるレバーのうち右側のレバーです。

これは上鍵盤と下鍵盤の音のバランスをとるためのもので、普通は中央位置にセットしておきます。

しかし、上鍵盤のメロディをもっと引ききたせたいときはこれを右にまわし、逆に下鍵盤の音が弱すぎるときは左にまわします。

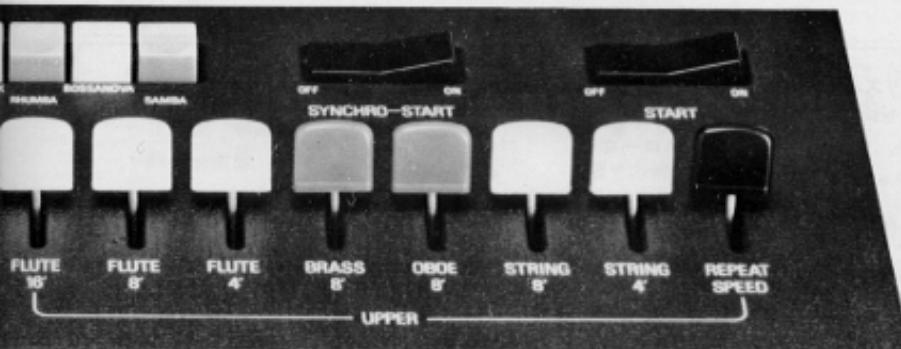
アップバーサステイン

エレクトーンでは普通キーを押した瞬間に音が出て、離した瞬間にブツリと切れてしまします。ところが既存の楽器、特にピアノではダンバーペダルを踏んでいればキーを離した後でも音が自然に減衰していきます。こうした効果を出すのがアップバーサステインです。

下鍵盤左側のレバーの左側の下にある黒いレバーで、サステインの減衰の長さを調節します。

一番左端にセットすると減衰時間は0で、従ってサステインはか





かりません。だんだん右に廻すにつれて減衰時間は長くなってきます。演奏中サステインをかけたりかけなかったりする場合はニーレバーでコントロールすることができます。右膝で外側(右側)に押すとON, 戻すとOFFになります。またニーレバーを倒しておけばサステインはかかったままになります。(C-10,のみ)

リバーブ

下鍵盤左側のレバーのうちの左側の2段になっている上の白いこのレバーを入れると大ホールで演奏しているような残響が得られます。

このレバーを左端にセットするとOFFになり、右にまわすにつれて残響が長くなります。

リバーブバランス

下鍵盤左側の二段になっているレバーの内、下にある黒いレバーです。

リバーブの掛かり具合を上鍵盤と下鍵盤とでバランスをとることができます。普通は中央の位置にセットしておきます。(B-50のみ)

[タブレット]



スペイシャスサウンド

この効果は、別名電子トレモロとも呼ばれるもので、上鍵盤と下鍵盤に別々にかけることができ、一種の音色変化が自動的に得られるものです。

これにより上鍵盤の音と下鍵盤の音にまろやかな広がりがつき、一層すばらしい音が得られます。

また「SLOW / FAST」のタブレットによってスピードも変えることができます。

[その他]

エフェクトニーレバー

アップバー8', 4'サステイン効果を、演奏中に入れ切れすることと、シンギングピブラートの効果をつける為に使われます。

(C-10,のみ)

トータルボリューム

トータルボリュームは深夜など人の迷惑にならないように、自由に音量調整ができます。

またエクスプレッションペダルとの併用により曲の途中や終りでp p p等の最弱音の効果を出したいたいときこのトータルボリュームでコントロールします。

C-10

■鍵盤

上鍵盤 44鍵 3 $\frac{2}{3}$ オクターブ(f~c₄)
 下鍵盤 44鍵 3 $\frac{2}{3}$ オクターブ(F~c₃)
 ベダル鍵盤 13鍵 1オクターブ(C~c)

■トーンレバー

上鍵盤 フルート16', 8', 4'
 プラス8', オーボエ8'
 ストリング8', ストリング4'
 下鍵盤 ウッド8', ホルン8', チェロ8'
 ベダル鍵盤 バス16', 8'

■エフェクトレバー

ブリリアンス(上・下鍵盤)
 リピートスピード(上鍵盤)
 ピブラート(上・下・ベダル鍵盤)
 ベダルサステイン
 ■エフェクトコントロール
 アッパー8', 4' サステイン
 マニュアルバランス
 リバーブ(上・下鍵盤)

■スペイシャスサウンド

アッパーボイス
 ロワーボイス
 スロー, ファースト
 ■アッパークリセッツ
 ピアノ, ハープシコード, マリンバ,
 ピブラフォン

■オートリズム

リズムセレクター(8リズム)
 マーチ, ワルツ, スイング, スローロック
 ク, ジャズロック
 ルンバ, ポサノバ, サンバ
 リズムコントロール
 リズムスタート, シンクロスタート, リズムストップ
 テンポコントロール, ポリュームコントロール, バランスコントロール, テンポ指示ランプ

■その他

マスター音量
 ニーレバー
 エクスプレッションペダル
 電源スイッチ, バイロットランプ
 AUXイン, AUXアウト, ACアウトレット
 ヘッドホーンジャック(モノラル)EXPイン

■使用半導体

トランジスター 292石
 IC 10個
 ダイオード 2石

■メインアンプ

30W (8Ω)

■スピーカー

コーンスピーカー 30cm 2本

■消費電力

100V 50/60Hz 最大80W

■外装

本体

仕上げ: ジアレルタレート, アメリカン
 ウオールナット

間口: 1132mm

奥行: 585mm

高さ: 897.5mm 譜面台を立てた時 1080mm

重量: 55kg

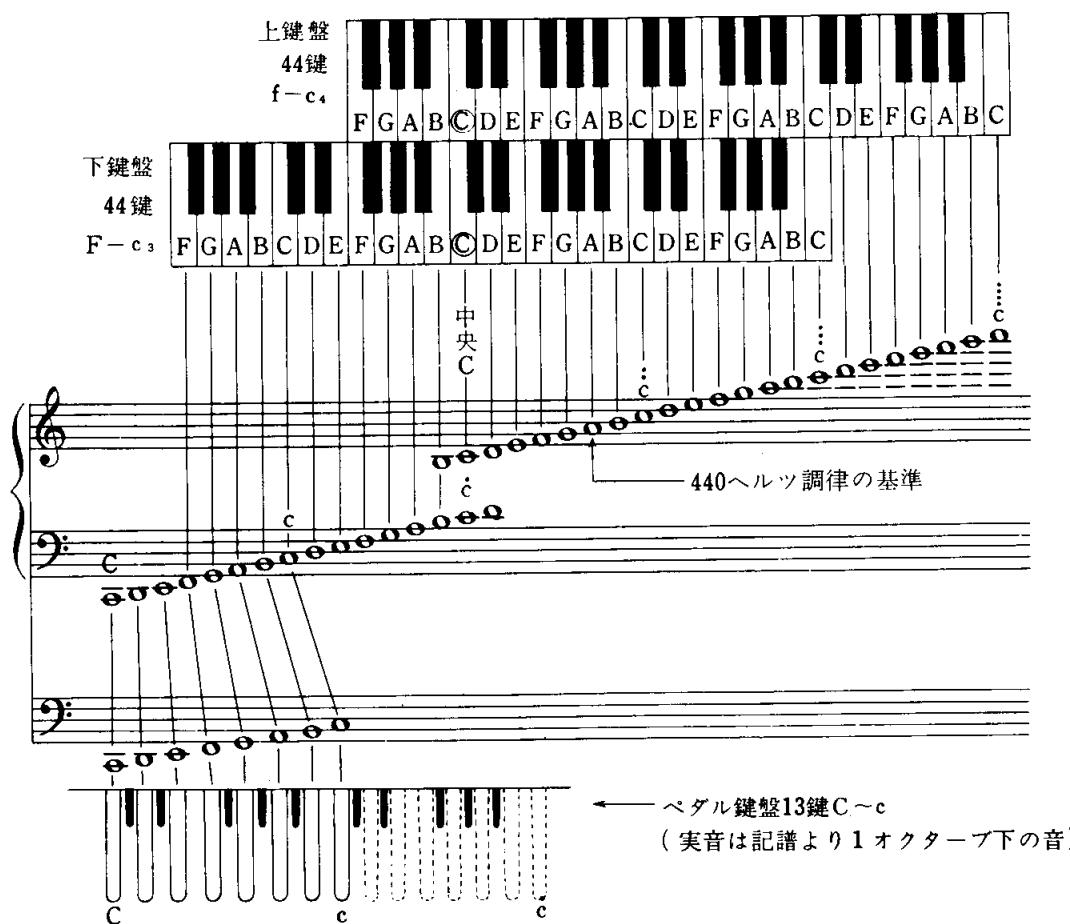
椅子 仕上げ: モルバ

間口: 600mm

奥行: 320mm

高さ: 555mm

重量: 5kg



※点線の部分は、トーンレバーのフィートによって抜けられる音域です。(8'の場合実音です。)

B-50仕様

■鍵盤
上鍵盤 44鍵 3%オクターブ(f~c₄)
下鍵盤 44鍵 3%オクターブ(F~c₃)
ペダル鍵盤 13鍵 1オクターブ(C~c)

■トーンレバー
上鍵盤 フルート16', 8', 4', プラス8'
オーボエ8', ストリング8'
下鍵盤 ウッド8', ホルン8', チェロ8'
ペダル鍵盤 バス8'

■エフェクトレバー
ビブラート(上・下・ペダル鍵盤)
ブリリアンス(上・下鍵盤)
ペダルサステイン

■エフェクトコントロール
リバーブ, リバーブバランス, マニュアルバランス

■スペイシャスサウンド
アッパーvoices
ローvoices
スロー, ファースト

■オートリズム
リズムセレクター(8リズム)
マーチ, ワルツ, スイング, スローロック,
ジャズロック, サンバ, ポサノバ,
ルンバ
リズムコントロール
リズムスタート, シンクロスタート, テ

ンボコントロール, ポリュームコントロール, バランスコントロール, テンポ指示ランプ, リズムストップ

■その他

電源スイッチ, バイロットランプ
トータルボリューム
エクスプレッションペダル(リズムストップスイッチ付)
AUXイン, AUXアウト, ACアウトレット
エクストラナルインプットジャック
ヘッドホーンジャック(モノラル), EXPイン

■使用半導体
トランジスター 154石
IC 10石
ダイオード 121石

■メインアンプ
15W(8Ω)

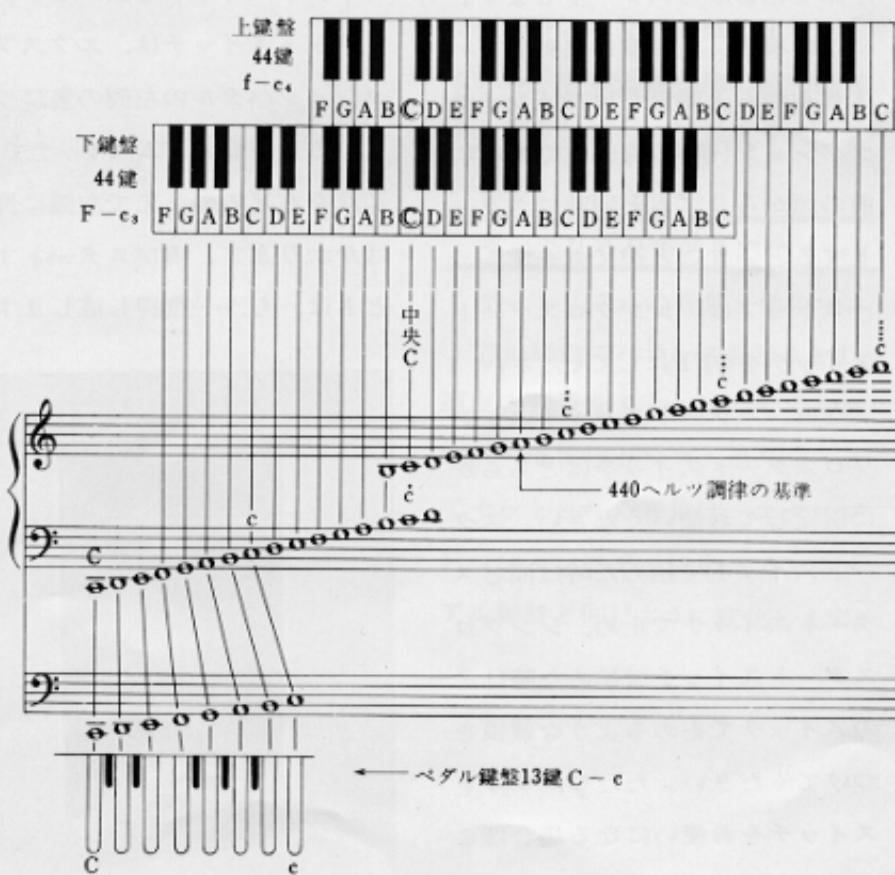
■スピーカー
コーナスピーカー 30cm

■消費電力
AC 100V 50/60Hz 40W

■外装
本体 仕上げ: ジアレルフタレート・アメリカンウォルナット
間口: 1108mm
奥行: 557mm
高さ: 897.5mm
重量: 52kg
椅子 仕上げ: モルバ
間口: 600mm
奥行: 320mm
高さ: 555mm
重量: 5kg
1073.5mm(譜面台を立てた時)

椅子 仕上げ: モルバ
間口: 600mm
奥行: 320mm
高さ: 555mm
重量: 5kg

■カセット(別売)
トラック方式: 2トラック, 1チャンネル・モノラル
テープ速度: 4.8cm/Sec
ワウフランジャー: 0.3%以下(RMS)
周波数特性: 50~10,000Hz
MIC-66dBm(0.5mV)
入力インピーダンス4.7KΩ
ピッチコントロール: ±3% (再生時のみ)
トランジスター: 19石
ダイオード: 10石
消費電力: 5W
電源: AC100V 50/60Hz
寸法: 奥行231×幅165×高さ73(mm)
重量: 1.7kg
附属品: マイク, ヘッド清掃用綿棒



**オートリズムセレクター**

8つのリズムがあります。お好きなリズムのボタンを押してください。2つ以上のリズムを同時に鳴らす場合は、ボタンを必要な数(3個くらいが限度)だけ押してください。この場合、指を同時に離すようにします。

リズムのチェンジは、次のリズムのボタンを押することで前のリズムは自動的にキャンセルされます。

各リズム間のテンポ(4分音符を基準)は一致していますから、曲の途中から違ったリズムで演奏することも、より曲の表現を多彩にします。

スタートスイッチ

あらかじめ、リズムを2小節か4小節鳴らしてから曲をスタートする場合には、スタートスイッチを使います。スイッチをONになると、リズムが第1拍目からスタートします。スイッチをOFFにすれば、リズムは止まります。

シンクロスタートスイッチ

曲とリズムを同時にスタートさせたい場合は、シンクロスタートスイッチを使います。スイッチをONにしておくと、下鍵盤またはペダル鍵盤と連動して、鍵盤を軽くタッチしただけで同時にリズムが第1拍目からスタートします。

この場合、上鍵盤は連動しませんから上鍵盤だけでイントロダクション(前奏)を弾いておいて、曲の頭からリズムと同時にスタートするということができます。

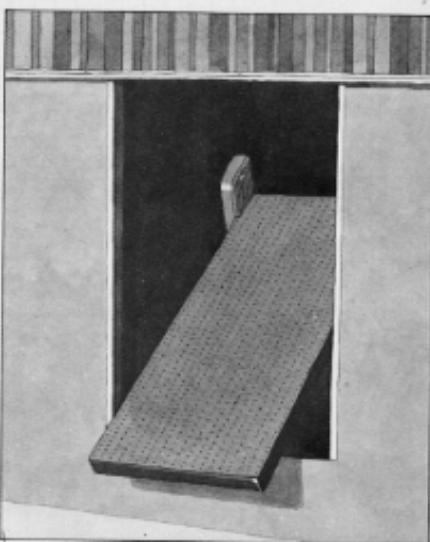
ストップは、シンクロスタートスイッチをOFFにしてください。

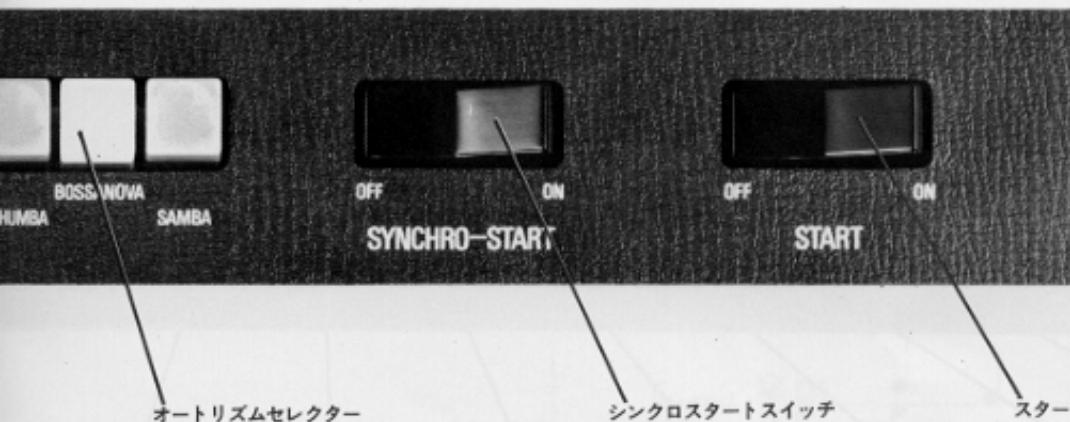
なお、スタートスイッチとシンクロスタートスイッチはどちらかに限定してお使いください。スタートスイッチで始めた時は同じスタートスイッチで止め、シンクロスタートスイッチで始めた時はそのスイッチで止めるような習慣をつけてください。ただし、フットスイッチをお使いになる場合はこの限りではありません。

フットスイッチ

スタートスイッチ、またはシンクロスタートスイッチで曲を弾き始め、曲の途中で短かいブレイク(リズムをいったん止めること)をする場合、または最後にリズムと曲を同時にストップさせたい場合にフットスイッチを使います。

フットスイッチは、エクスプレッションペダルの左側の奥にしている長方形のゴムスイッチです。これを右足のつま先で左側に押せばかかります。再びスタートするときは、もう一度押し直します。





ただし、曲の最後にフットスイッチを使ってリズムを止めた場合は、スタートの時に使ったスイッチはONの状態にある筈ですから必ず一旦OFFの状態に戻しておくように心掛けてください。

テンポコントロール

オートリズムのテンポを自由にコントロールすることができます。シンクロスタートスイッチを使う場合は、スイッチをONにしておくと音を出さない状態で、テンポインジケーターランプによりテンポを目で確認することができます。

4分音符の単位で点滅しますが、スタートすると各小節の頭で点滅するようになります。

オートリズムボリューム

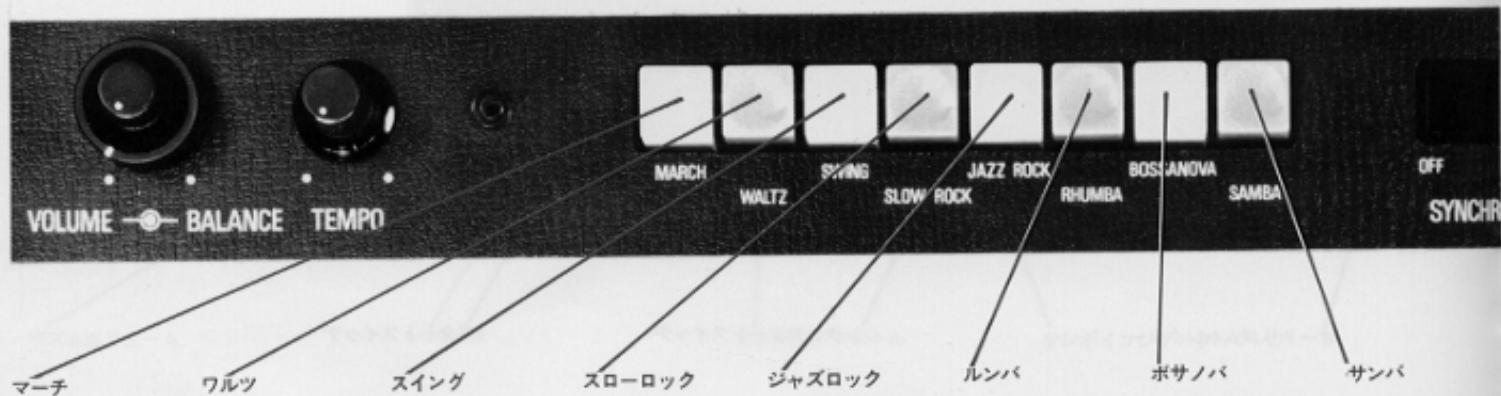
オートリズムの音量と他のマニアル鍵盤のバランスをとります。適度の音量を工夫してみてください。一度オートリズムボリュームでセットされた音量は、エクスプレッションペダルによってマニアル鍵盤と同じように変化します。

バランス調整

バランス調整は、バスドラムなどの低い音とシンバルなどの高い音との音量のバランスを、使う人の好みに調整していただくためと、同じリズムでも曲によってそれぞれ違った感じで使っていただくためにあります。

ツマミを右にまわすとバスドラムなどの低い音が弱くなり、シンバル系統の高い音が強くなります。左にまわすとバスドラム、ポンゴ、コンガなどの太鼓の音が強くなりシンバル系統の音量が下がります。一般的には、ツマミを右にまわした方が軽快な感じになります。

個々のリズムのバランスのとり方については、後述の「演奏はこうして」の項をご参照ください。

**マーチ**

2拍子のリズムです。マーチ・ポルカにはもちろん、4拍子の曲でも「聖者の行進」などのオルタネーティング・ベースを使う場合には最適です。

2拍目のスネアードラムの音が気になるようでしたら、バランスつまみを右にまわすと軽快な感じになります。

ワルツ

3/4拍子です。左手の伴奏と同じパターンになりますから、リズムが伴奏とズれないように注意しましょう。テンポを速く、軽い感じで弾くときは、バランスを右にまわして好みのバランスを作ってください。

スイング

4/4拍子系統の曲には、テンポの速い連打を間わず使うことができます。これにマーチを混ぜますと、バスドラムが4分音符で1拍ずつ鳴りますから、曲の途中から盛り上げるために使うと効果があります。

スローロック

いわゆる「ロッカ・バラード」といわれるリズムです。イタリアのカンツォーネとか、日本のボビュラーソングなどにこのリズムが多く使われています。ワルツのリズムを混ぜると、アクセントがきていいっそう華やかになります。

ジャズロック

ジャズロックの基本パターンです。バスドラムの音量が邪魔になるようでしたら、バランス調整をしてください。スイングやマーチを混ぜると、ジャズロックのバリエーションとして効果的に利用できます。またルンバ、ボサノバ、サンバを混ぜると各々チャチャ・マンボに似たリズムができ、ワルツを混ぜるとアメリカンに似たリズムができ「蜜の味」などの曲が生きてきます。ただし、ワルツを混ぜた場合はテンポが少し速くなりますから注意してください。

ボサノバ

ボサノバの場合もバランスの調節で、ボサロック的な感じと、太鼓の音を絞ったクールな感じを使い分けてみましょう。また、サンバやジャズロックなどラテン系のリズムを混ぜた感じも試してみてください。



ルンバ

ラテンリズムで一番ポピュラーなルンバのリズムです。バランスを右に一杯まわすと、シンバルの音がビギンのリズムを刻みます。左に一杯まわすとポンゴなどの音が大きくなって、よりルンバラしい感じが出ます。サンバ、ボサノバ、ジャズロックなどと混ぜてもおもしろい味がでます。

サンバ

サンバはボサノバのもとになります。ですから、ボサノバの曲をスローのサンバで弾いてみるとまた違ったフィーリングになります。本来のサンバのリズムは速いテンポで演奏する場合が多いので、テンポをじっくり確認して楽しく、おおらかに弾きましょう。

CY2——シンバル
 CY1——シンバル
 SDH)——スネア
 SDN)——ドラム
 HO——ハイコンガ
 HB——ハイポンゴ
 LC——ローコンガ
 BD——バスドラム

- 同じ位置に記譜してありますので、各々のリズムパターンを知りたい時には左の打楽器略号を横に追ってください。
- 記譜の都合上、BD(バスドラム)のみ休止符を最小限度使用しました。

MARCH

$\frac{2}{4}$

CY2
SDH
BD

WALTZ

$\frac{3}{4}$

CY2
CY1
BD

SWING

$\frac{4}{4}$

CY2
CY1
SDH
BD

SLOW ROCK

$\frac{4}{4}$

CY2
SDH
BD

JAZZ ROCK

$\frac{4}{4}$

CY2
CY1
SDH
BD

BOSSA NOVA

$\frac{4}{4}$

CY2
CY1
HB
BD

RHUMBA

$\frac{4}{4}$

CY2
CY1
HC
HB
LC

SAMBA

$\frac{4}{4}$

CY2
CY1
HC
HB
LC
BD